

# 「不動産のための計量分析」レジュメ NO.1

クラス担当教員名※1	学部・学科名	学籍番号※2	氏名※2	提出日

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く ※2:学籍番号及び氏名が未記入のもの、また授業終了後に提出されたものは採点しないので、注意すること。

## 0. ガイダンス

### 0-1 講義概要—「不動産のための計量分析」で何を学ぶか？

本講義は、不動産市場分析に必要な計量分析の手法を身につけることを目的とします。

具体的には、『都市の経済学』や『環境と経済』で学ぶヘドニック・アプローチを用いて不動産市場分析ができるように、Excelで重回帰分析を習得します。

講義は、コンピュータールームでコンピュータを用いて行いますので、**ある程度コンピュータを使いこなせ、都市経済学や環境経済学を学んでいる学生**を前提とします。

### 0-2 講義内容

- 第1回 ガイダンス—講義の進め方
- 第2回 授業用PCの使い方とデータの取り扱い方について
- 第3回 データ収集とExcelによる作図
- 第4回 経済モデルと計量経済学の使い方
- 第5回 様々な統計量
- 第6回 2変数の関係—相関係数
- 第7回 単回帰分析
- 第8回 データ加工1 (変数変換)
- 第9回 データ加工2 (ダミー変数1)
- 第10回 データ加工3 (ダミー変数2)
- 第11回 重回帰分析による都市構造の分析1 (付け値地代の推計1)
- 第12回 重回帰分析による都市構造の分析2 (付け値地代の推計2)
- 第13回 重回帰分析による都市構造の分析3 (居住環境の分析)
- 第14回 まとめ

### 0-3 教科書・参考書

特定の教科書は使わずに、レジュメを用いて講義を行います。レジュメを加筆・修正して教科書として出版する予定なので、内容に関するコメントは大歓迎します。参考文献は、以下の通りですが、買う必要はありません。

参考文献としては以下の5つを挙げておきます。いずれも初歩的な計量経済学の参考書ですが、数学を多く使っていますので購入する必要はありません。大学院へ行きたい学生や、将来研究所などで計量分析を専門的にやりたい学生は購入してください。

1. 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』朝倉書店
2. 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』東洋経済新報社
3. 白砂堤津耶『例題で学ぶ初歩からの計量経済学』日本評論社
4. 蓑谷千風彦『スタンダードシリーズ計量経済学』東洋経済新報社

### 0-4 成績評価の方法

計量経済学は演習形式で行いますので、成績評価は以下の1通りのみです。**追試・再試はしません。**

**毎回、実際のデータを用いた統計解析などのレポートや小テストを行い、その12、3回のレポート、小テストの得点率の平均が60%以上であれば合格。**例えば、得点率の平均が76%であれば、最終成績は76点(B)。小テスト・レポートは後述のように講義中に提出してもらいます。

注) **出席しただけでは点にならない。**まじめに講義を聞いてそれなりにレポートを提出しないとだめ。例えば、90分話を聞かずに、名前だけ書いてレポートを出しても0点。

### 0-5 注意事項

1. 出席はとりません。毎回提出するレポートや小テストが最終成績に反映されるので、相談を許可していない時のカンニング等の不正行為は厳禁。不正行為をした場合、この科目の最終評価を不合格とする。
2. 授業中に私語をしたり、居眠りをして注意を受けたりすると10点のマイナス、講師の入室後の入退室は健康上の問題等の場合を除き5点のマイナスとします。

## 「不動産のための計量分析」レジュメ NO.1

クラス担当教員名※ <sup>1</sup>	学部・学科名	学籍番号※ <sup>2</sup>	氏名※ <sup>2</sup>	提出日

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く ※2:学籍番号及び氏名が未記入のもの、また授業終了後に提出されたものは採点しないので、注意すること。

3. 私語をしたり、遅刻、早退をしたりすると、欠席より点が低くなりますから、**私語したい人は来ないように。**
4. 講義用レジュメは以下の web ページからダウンロード・印刷して、各自で用意すること。自宅にパソコンがない学生は、メディアセンターを利用すること。**こちらでは印刷・配布はしない。**

	担当教員	教室	W e b
火曜 1 限目	後藤	2 6 4 1	<a href="http://ueco.s206.xrea.com/pukiwiki/">http://ueco.s206.xrea.com/pukiwiki/</a>
木曜 4 時目	原野		

### 0-6 履修条件:どの程度のパソコンノウハウと、数学、経済学を使うか？

経済学は「ミクロ経済学」、「都市の経済学」や「環境と経済」などで習ったことは使います。例えば、地代がどのように決定するか、土地利用はどのように決まるかが分からないと講義について行けません。復習しておきましょう。

数学は簡単な四則演算は使います。「不動産のための数学基礎」の単位が取れていれば「数理統計」や「統計解析」での知識は必要ありません。

PCノウハウも複雑なことは必要ありません。インターネットに接続でき、レジュメやデータをDLして、Word や Excel で作業して、後述のフォルダに送れるだけで十分です。